

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2015/12/31	2016/5/31	2016/6/10	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	19,033.71	17,234.98	16,601.36	20,952.71	2015/6/24	12,415.85	2013/6/13
NYダウ	ドル	17,425.03	17,787.20	17,865.34	18,351.36	2015/5/19	14,551.27	2013/6/24
円/ドル	円	120.22	110.73	106.97	125.86	2015/6/5	93.79	2013/6/13

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り ～ 小幅下落～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲40.87 (▲0.25%)、TOPIXが▲6.51ポイント (▲0.49%) となり、小幅に下落する展開となりました。業種別 (東証33業種) にみると、電気・ガス業、石油・石炭製品、医薬品など12業種が上昇する一方、保険業、証券・商品先物取引業、その他金融業など21業種が下落しました。週明け6日の日本株市場は、先々週末に発表された市場予想を大きく下回る米雇用統計の結果を受けて、米国利上げ観測が後退したことなどから一時106円台前半まで円高ドル安が進んだことを背景に、下落して始まりしました。8日にかけては、原油価格が上昇したことなどから米国株市場が堅調に推移したことを受けて反発したものの、その後は、英国のEU (欧州連合) 離脱に対する警戒感の高まりなどを背景に軟調に推移しました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回	前回
6月13日	Mon	中国	鉱工業生産 (前年比)	5月	6.0%
6月14日	Tue	米国	FOMC (米連邦公開市場委員会) 15日まで 小売売上高 (除自動車) (前月比)	5月	0.8%
6月15日	Wed	日本	日本銀行・政策委員会・金融政策決定会合 (16日まで)		
		米国	FOMC終了後、イェレンFRB (米連邦準備理事会) 議長の声明発表		
		米国	PPI (生産者物価指数) (除食品・エネルギー/前年比)	5月	0.9%
		米国	ニューヨーク連銀製造業景況指数	6月	-9.02
6月16日	Thu	米国	鉱工業生産 (前月比)	5月	0.7%
		米国	経常収支	1-3月期	-1253億 ^{ドル}
		米国	フィラデルフィア連銀製造業景況指数	6月	-1.8
6月17日	Fri	欧州	CPI (消費者物価指数) (除食品&エネルギー/前年比)	5月	2.1%
		米国	ユーロ圏財務相会合 (ルクセンブルク)		
6月17日	Fri	米国	住宅着工件数	5月	1172千件
6月17日	Fri	欧州	EU (欧州連合) 財務相理事会 (ルクセンブルク)		

決算発表予定 他	米国	決算発表: 6/16 オラクル
----------	----	-----------------

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し ～ 来週に英国の国民投票を控えリスク抑制の動きが続く中、弱含みの展開～

今週の日本株市場は、来週23日に行われる英国のEU離脱の是非を巡る国民投票を控えリスク抑制の動きが続く中、弱含む展開を予想します。英国のEU離脱問題については、英国経済に与える悪影響を考慮すると、EU離脱を決定する可能性は低いとみています。しかし、先週末にかけて各調査会社が発表した世論調査の結果では、離脱派が残留派を上回る傾向にあり、予断を許さない状況にあります。このため、実際に国民投票の結果をみるまで、リスク抑制の動きが続くと予想します。なお今週は、米国では14~15日にFOMC (米連邦公開市場委員会)、日本では15~16日に日銀の金融政策決定会合が行われますが、英国の国民投票を控えていることから、日米とも現状の金融政策を継続するとみています。